

## 中也の帽子について

お送りいたしました帽子はソフト帽子と呼ばれるものです。  
この帽子のリボンのすぐ上を内側に折込み、てっぺんを平らにすると、  
中也の肖像写真の帽子によく似た形となります。

中也のかぶっていた帽子は現存していませんので、  
正確な素材・大きさなどはわかっていませんが、  
大正から昭和にかけての時代に、ソフト帽子をつぶしてかぶることが流行していたそうです。

中原中也の友人である大岡昇平は、中也のかぶっていた帽子について、  
「お釜帽子といわれた、黒いソフトのてっぺんを平らにしたものである。短頭であった中原はこの  
の方がかぶり易く、昭和三年にもこの形にしていた。」と書いています。（大岡昇平「詩人と写真」より）

